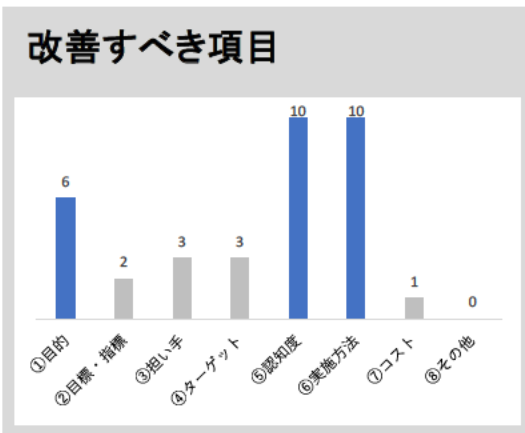


事業の名称	図書館事業		
部名	生涯学習部	課名	図書館
事業の目指すべき姿	市民がライフステージに応じて必要となる知識・情報等を、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に利用できる環境を整備して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与する。		

総合評価	改善すべき
評価結果	

各評価人の評価	
よく取り組んでいる	0人
改善すべき	8人
大いに改善すべき	2人
廃止すべき	0人



評価人の意見

(1) 認知度
図書館は、市民に学習機会を提供する市の大事な公共施設である。そのため、できるだけ幅広い世代、特に若い世代にも活用、認識してもらえよう、周知を適切に行ってほしい。

- ・特に利用者が少ない若者に対し、図書館の魅力について、効果的に発信する必要がある。

(2) 目的・実施方法
同じ生涯学習施設である図書館と生涯学習センターの連携について、契機をとらえて検討してほしい。

図書館の機能、利用方法、運営方法については可能性があるだけに様々な期待がある。将来を見据えて、図書館の本来機能に加えて、特色があり地域に愛される新しい図書館を考えてもらいたい。

- ・図書館本来の機能を充実させるなどして、利便性を向上させる必要がある。
- ・地域に密着した特徴ある図書館にするとよい。

(3) 担い手
将来を担う若者の声も大事にしながら、多様化するニーズに対応するため、行政だけではなく大学、市民、民間事業者など、みんなで担っていき、地域から愛される図書館にしてほしい。

- ・サービスの充実や効率化を促進するために、民間活力の活用を検討する必要がある。
- ・より市民ニーズに沿ったサービスを提供するため、地域の大学や市民ボランティアなどと連携する必要がある。

改善の基本的な考え方

(1) 認知度
未就学児から小学生まで比べ、中高生の利用が少ないため、若者をターゲットにした、図書館に足を運んでもらえるような情報発信等を行っていく。

(2) 目的・実施方法
図書館本来の機能である情報提供を充実させるとともに、地域の特色を活かし、図書館により多くの市民が愛着を持って利用してもらえる方法を検討し、実施する。

開館日・開館時間拡大等による利便性の向上も検討する。

(3) 担い手
より効率的・効果的な図書館運営をするための民間活力の活用等、市民や民間と連携してよりよい図書館となるよう、ニーズを踏まえたうえで、それぞれが担える部分について検討し、実施する。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(1) 認知度
①今まで以上に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットや市ホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、地区協議会や観光コンベンション協会などと連携したPR活動を進める。

②2020年1月に実施したホームページの更改に合わせ、掲載している写真を見やすく明るいものに差し替えた。これらをTwitterなどのSNSで発信する。

③要望が多い学習室の充実について、集会室などの既存スペースを有効活用し、2019年度から提供を開始した中高生のグループ学習用スペースの提供期間を拡大する。

④中央図書館5階のヤングアダルトコーナーについて、机と椅子を刷新すると共に数を増やし、中高生向けに勉強目的でも図書館を利用できるよう若者の優先席を増やした。愛称をTEEN LIBRARYと称し、中高生が利用しなくなる図書館を目指している。

(2) 目的・実施方法
①市民からの要望が多い、開館日、開館時間の拡大を検討する。

- ・特に、駅に近接し、多くの通勤・通学者の利用が見込まれる、中央図書館と鶴川駅前図書館における開館日時の拡大について検討を進める。

②近隣の自治体との相互利用を拡大することで、実質的なサービス拠点を増やし、市民の利便性を向上し、より多くの読書機会の創出を実現する。

③地域活動サポートオフィス※や地区協議会、生涯学習センターなどと連携し、地域で活動する人材を育成するための講座を開催する。

※地域活動サポートオフィス: 町田市を拠点に、まちの困りごとに取り組む担い手をサポートする組織

(3) 担い手
①2020年2月に策定した「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、民間活力導入のメリット・デメリットを見極め、他の地域館の運営の方向性を定めるため、2022年度に鶴川駅前図書館に指定管理者制度を導入し、その導入効果を測る。

②市民の読書活動の拡大と関連団体の育成のため、地域文庫や大学図書館、ボランティア団体との連携を強化する。

- ・ボランティアの交流会等を企画し、ボランティア同士のつながりを深め、活動の活発化を支援する。

③若者のニーズを把握するため、高校生が図書館事業に参加できる仕組みを検討する。

目標

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①連携して行うPR活動件数(年間)	①1件 (2020年3月)	①3件 (2022年3月)
②SNS発信回数(年間)	②81回 (2020年3月)	②120回 (2022年3月)
③中高生へのスペース提供日数(年間)	③18日 (2020年3月)	③50日 (2022年3月)
④中高生向け勉強スペースの設置	④— (2019年11月)	④設置完了 (2020年1月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①開館日時の拡大	①— (2020年3月)	①実施 (2022年4月)
②相互利用の拡大(累計)	②9市 (2020年3月)	②10市 (2020年11月)
③受講者数(累計)	③— (2020年3月)	③30人 (2022年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①民間活力の活用	①— (2020年3月)	①民間活力の導入 (2022年4月)
②ボランティア講座参加者数(累計)	②118人 (2020年3月)	②200人 (2022年3月)
③仕組みの検討	③— (2020年3月)	③検討完了 (2021年3月)

結果(概要)

実績値 (時点)	取組内容
①3件 (2021年3月) 【改善済】	①鶴川地区協議会等と連携し、イベントや移動図書館をPR
②101回 (2022年3月) 【改善済】	②Twitterだけでなく移動図書館のプロモーション動画を作成し積極的に情報発信
③53日 (2021年3月) 【改善済】	③中高生のグループ学習用スペースとして、中央図書館の集会室を土・日・祝日に開放
④設置完了 (2020年1月) 【改善済】	④勉強目的でも図書館を利用できるよう、中央図書館に中高生向けの優先席を増席

実績値 (時点)	取組内容
①実施の決定 (2022年3月) 【改善済】	①2022年度からの鶴川駅前図書館の開館日や開館時間の拡大を決定
②10市 (2020年11月) 【改善済】	②新たに横浜市との相互利用を開始
③33人 (2022年3月) 【改善済】	③地域活動サポートオフィスと連携し、地域で活動する人材を育成するための講座で、関連する書籍等を紹介

実績値 (時点)	取組内容
①民間活力の導入 (2022年3月) 【改善済】	①2022年度からの鶴川駅前図書館への指定管理者制度導入に向け業務引継を実施
②237人 (2022年3月) 【改善済】	②地域館での開催回数を増やしてボランティア講座を実施
③検討完了 (2021年3月) 【改善済】	③若者との意見交換を行う機会を新たに設け、高校生が図書館事業に参加できる仕組みを検討

事業の名称	図書館事業		
部名	生涯学習部	課名	図書館

項目	結果(詳細)			
	2020年度		2021年度	

(1) 認知度	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①3件 (2021年3月) 【改善済】	① ・2,3月に行った鶴川図書館の再編後の姿を市民の皆様に考えていただくワークショップについて、鶴川地区協議会と連携し、「地区協議会だより」への告知記事の掲載や、チラシの配布にご協力いただき、広く周知した。 ・11月に企画政策課、文化振興課、公園緑地課が実施したイベント「Made in Serigaya 公園活用実験」において、「公園で読書」という新しい試みのため、芹ヶ谷公園に移動図書館そよかぜ号を派遣し、貸出や読み聞かせのスペースを設け、移動図書館をPRした。 ・3月には産業政策課が実施したイベント「シバヒロ読書ピクニック」において、町田シバヒロに移動図書館そよかぜ号を派遣し、読みたい本を持ってこなくても本が読める環境を提供し、移動図書館をPRした。	①3件 (2021年3月) 【改善済】	①2020年度で改善済
	②100回 (2021年3月) 【改善進行中】	②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お話し会やイベントを中止したことにより、4月から6月まではイベント等のTwitterの発信数は減少したが、7月からは、自宅でも楽しんでいただけるコンテンツや塗り絵、工作の紹介など、積極的な情報発信を行った。今後も、イベント等の発信とともに、図書館を身近に感じてもらえるような情報を積極的に発信していく。	②101回 (2022年3月) 【改善済】	②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お話し会やイベントを中止したことにより、Twitterの発信数を2020年度と比較して増加させることはできなかったが、さがまち学生Clubの学生の協力により、新たに移動図書館のプロモーション動画を作成した。プロモーション動画は、YouTubeの「町田市公式動画チャンネル」で配信を行い、約600回の視聴があった。
	③53日 (2021年3月) 【改善済】	③中央図書館の集会室について、中高生のグループ学習用スペースとして、2019年度には夏休み期間中の土・日・祝日に試行で開放したが、2020年10月10日から通年で土・日・祝日に開放した。また、中高生の利用を促進するため、愛称を「わいわいキャレル」と称し、広報や市ホームページへの掲載や館内掲示を行った。	③53日 (2021年3月) 【改善済】	③2020年度で改善済
	④設置完了 (2020年1月) 【改善済】	④中央図書館5階のヤングアダルトコーナーについて、愛称をTEEN LIBRARYと称し、机と椅子を刷新するとともに数を増やし、中高生向けに勉強目的でも図書館を利用できるよう若者の優先席を増やした。【2019年度改善済】	④設置完了 (2020年1月) 【改善済】	④2020年度で改善済

(2) 目的・実施方法	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①検討中 (2021年3月) 【改善進行中】	①鶴川駅前図書館における指定管理者制度導入の検討と合わせ、開館日や開館時間の拡大を検討した。2022年度からの実施を目指し、引き続き検討を進めていく。	①実施の決定 (2022年3月) 【改善済】	①鶴川駅前図書館における指定管理者制度導入に合わせ、2022年4月から開館日や開館時間を拡大することを決定した。
	②10市 (2020年11月) 【改善済】	②近隣の自治体との相互利用について、2020年11月1日から新たに横浜市でも開始し、合計10市の図書館の利用を可能とした。	②10市 (2020年11月) 【改善済】	②2020年度で改善済
③16人 (2021年3月) 【改善進行中】	③地域活動サポートオフィスと連携し、地域活動サポートオフィスが主催した、地域で活動する人材を育成するための講座「ファシリテーション基礎セミナー」全4回のうち1回にアドバイザーとして参加し、ファシリテーションに関する書籍や図書館で行っている特集コーナーの紹介などを行った。	③33人 (2022年3月) 【改善済】	③ ・地域活動サポートオフィスと連携し、地域活動サポートオフィスが主催した、地域で活動する人材を育成するための講座「ファシリテーション基礎セミナー」全3回のうち1回にアドバイザーとして参加し、ファシリテーションに関する書籍や図書館で行っている特集コーナーの紹介などを行った。 ・2021年度は新たに17人が「ファシリテーション基礎セミナー」を受講、2020年度から地域で活動する人材を累計33人育成し、目標値に達した。	

事業の名称		図書館事業	
部名	生涯学習部	課名	図書館

項目	結果(詳細)			
	2020年度		2021年度	

項目	実績値(時点)	取組内容	実績値(時点)	取組内容
	(3)担い手	①民間活力の導入に向けた準備 (2021年3月) 【改善進行中】	①鶴川駅前図書館について、民間経営のノウハウを活用することで、効率的かつ市民に喜ばれる運営につながるよう、2022年度からの指定管理者制度導入に向け、アンケート調査によるニーズの把握など、準備を進めた。	①民間活力の導入 (2022年3月) 【改善済】
②126人 (2021年3月) 【改善進行中】		② ・市民の読書活動の拡大と関連団体の育成のため、図書館でのボランティア養成のほか、市内でお話し会等のボランティア活動を行っている個人に向けた講座を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した結果、実施回数を減らし、少人数で実施したため、参加者は大幅に減少した。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、講座を開催し、参加者の増加に努める。 ・毎年度実施しているボランティアの交流会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送った。 ・市民の読書活動の拡大と関連団体との連携強化を目指し、個人として読書普及活動に取り組んでいる方や地域文庫の担い手と意見交換を行い、3月に、地域文庫も含めた町田市内の本が読める施設をまとめた「読書マップ」を作成し、公表した。	②237人 (2022年3月) 【改善済】	② ・2020年度から引き続き、市民の読書活動の拡大と関連団体の育成のため、図書館でのボランティア養成のほか、市内でお話し会等のボランティア活動を行っている個人に向けた講座を行った。ソーシャルディスタンスや換気等に留意したうえで、2020年度と比較し、地域館での開催回数を増やして講座を実施した結果、新たに111人が参加した。 ・毎年度実施しているボランティアの交流会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送ったが、ボランティア活動の活性化や交流の促進を図るため、感染状況に留意しながら開催を検討していく。
③検討完了 (2021年3月) 【改善済】		③「町田創造プロジェクト(MSP)」*メンバーや子どもセンターつるっこの運営委員との意見交換を行う機会を新たに設け、高校生等若者が図書館事業に参加できる仕組みについての検討や若者のニーズの把握に努めた。 *町田創造プロジェクト(MSP):町田の魅力を発信し、町田の未来を考える若者グループ	③検討完了 (2021年3月) 【改善済】	③2020年度で改善済